

7月 学習会



今月の学習会は「止血」についてです

血を止めると書いて止血です。

透析はほとんどの場合は針を用いる治療ですので、必須の手技となります。

もちろん透析に限らず医療現場では採血や注射のように針が用いられ、処置後には止血を行います。健康診断などでも誰もが経験する当たり前の手技です。

しかし透析では大量の血液を体外に循環させる必要があるため、かなり太い針を用い、主にシャントと呼ばれる流量の多い透析用に作られた血管に刺す場合が多く、また回路と触れた血液が固まらないような薬剤を使用して…と、透析の状況を少し言葉にしてみただけでも出血しやすい条件がそろっていることがお分かりいただけると思います。

きちんと止めなければ出血してしまうだけでなく、血腫が出来てしまえば次回針を刺せなくなってしまう可能性もあります。

それゆえに止血をとという当たり前の手技がとても大切になってきます。

今回はその基本中の基本だけれどとても大切な手技を、主に新人スタッフ向けに行っていただきました。